

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		総合的な排出権取引制度分析に基づく温暖化防止政策に関する研究			
研究テーマ (欧文) AZ		Studies on Policy Imprecation against Global Warming: Empirical Analysis on Emissions Trading Schemes			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓) ヤマモト	名) ヨシカ	研究期間 B	2007～ 2009年
	漢字 CB	山本	芳華	報告年度 YR	2009年
	ローマ字 CZ	Yamamoto	Yoshika	研究機関名	摂南大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		摂南大学 経営情報学部・准教授			
概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)					
<p>本研究の排出権取引制度の分析にあたり、とくに第一フェーズ(2005年、2006年、2007年)期間内に経済成長が著しく排出権取引制度の目標達成が経営努力なしには難しかったアイルランド組織を対象にした。ここでは、排出権取引制度導入前後において組織経営にどのような影響があったのか、排出権取引制度の目標達成のための戦略的行動があったのかについての実証研究を行った。</p> <p>排出権取引制度導入による組織のマネジメント体制への影響に関しては、ISO14001などの自主的マネジメントシステムを構築・導入が増加したことが分析の結果明らかとなった。さらに、組織内マネジメント体制強化にともなって、組織内部の温室効果ガス量の把握と削減に関する手順類の整備も積極的に進められている。以上より制度導入によって地球温暖化防止に向けた組織マネジメント体制強化が進められたといえる。</p> <p>あわせて、排出権取引制度導入により組織内のCO2量削減に向けた戦略的行動がなされているかについて明らかにした。第一フェーズ期間中は経年的に化石系燃料の中でもよりCO2排出量が少ない燃料の選択切り替えが進んでいた。その中でも特に、CO2量をカウントしないバイオマス燃料の使用促進が経年的に促進していた。データ分析の結果、エネルギー総使用量を減少させるという選択ではなく、CO2排出量が少ない燃料を選択するという戦略的行動が行われたといえる。</p> <p>さらに本研究では、排出権取引制度における目的達成組織における組織経営に着目し、どのような戦略的行動がみられるのかについて実証研究を行った。とくに目標達成組織は非達成組織に比較してCO2インパクトの少ない化石系燃料への置き換えやバイオマス燃料の積極使用が顕著に行われていることが判明した。</p> <p>今後は、排出権取引制度導を支える企業組織体制における強化と自主的取り組み促進のインセンティブをあげる政策が必要だと考える。</p>					
キーワード FA	排出権取引制度	温暖化防止政策	企業経営	実証分析	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	欧州排出権取引制度における自主的マネジメント体制強化の促進について							
	著者名 ^{GA}	山本 芳華	雑誌名 ^{GC}	経営情報研究					
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}	2	0	1	0	巻号 ^{GD}	17巻第2号
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

We focus on Irish installations with EUETS, because they have serious situations to meet EUETS targets in the phase I, because of the influence from the economic booming called 'Celtic tiger. Our research targets are to reveal following research questions by empirical EUETS data analysis.

1. What kind of influence and impact EUETS installations have after EUETS implementation?
2. The EUETS installations have the management strategies to achieve EUETS targets?

As for 1st question, they have developed voluntary management systems like as ISO14001 series after phase I of EUETS. Additionally the procedures according to EUETS management, more installations establish them after phase I. They have drastic changes on their management systems for implementation of EUETS.

Additionally, EUETS installations take the EUETS strategies to change fuel types with less CO2 emission factor but instead to reduce total amounts of energy use. Especially the total amount of biomass use increase with total dose, because biomass use does not have any CO2 emissions.

As for 2nd question, the installations with EUETS target achievement have clear energy strategies rather than others. Especially they use more biomass and change fuel types to cut their total CO2 emissions.

As a result, we need more incentive-based policies to promote the installations to reduce CO2 emissions voluntarily and develop their own management systems enough to achieve the ETS targets.